

令和四年度予算における国公立大学法人関係予算の拡充等に関する決議（案）

新型コロナウイルス感染症の流行長期化の中、全国各地域に所在する国公立大学は、新型コロナウイルス重症患者の受け入れ、地域のワクチン接種の拠点として貢献している。一方、政府においては、経済的に困窮する学生や国公立大学を支援する多くの施策を實現した。これにより、将来ある学生が学業を継続でき、多くの国公立大学附属病院において危機的財務状況が下支えされた。さらに今後の我が国の研究力向上に繋がる大学ファンドという画期的制度の實現など、国公立大学が国民の公共財として国や地方公共団体等から負託された責務を果たし続けるための環境整備が進んでいる。

特に国立大学においては、来年度から第四期中期目標期間を迎えるにあたり、教育・研究機能を一層強化・拡張し社会に貢献していくことが求められる。国公立大学は、感染症や災害に対する高度にレジリエントな社会の構築と国土強靱化に貢献するとともに、DXを活用した社会の持続可能な成長、カーボンニュートラル等によるグリーンリカバリーの実現の中核を担わなくてはならない。さらに、世界や地域を牽引する高度で知的な人材の育成が求められている。また、高度先進医療の提供や医療人材の育成等で地域医療の中核を担う国公立大学附属病院の機能・役割を維持し続けるためには、医師の働き方改革制度の柔軟な運用が求められる。さらに地方に立地する国公立大学においては、地方創生の中核として、地域連携機能の強化や地域のニーズに応じたりカレント教育、またイノベーションを通じた地域の経済社会の発展への貢献が求められる。

国公立大学がこのような責務を十分に果たすため、次の事項についてさらに万全を期すべきである。

- 一、コロナ新時代にも対応した国立大学法人運営費交付金等の基盤的経費や科研費の拡充、及びデジタル化に対応する教育研究基盤の強化のための財政支援の拡充と柔軟な運用及び情報基盤社会を支える学術情報ネットワーク環境の整備充実
- 二、コロナ禍の中で各大学が対面授業を再開する状況において、感染リスクを低減し学生が安心して学べる教育環境の整備のための確実な財政支援
- 三、新型コロナウイルス対応を含む地域医療の最後の砦である国公立大学附属病院における医療提供体制強化に必要な財政支援と医師の働き方改革に対する柔軟な制度運用
- 四、教育・研究機能の強化等を支え、地域や産業界との共創や感染症研究、災害時の地域防災などにおいて拠点となり、また施設の省エネルギー化とZEB化の推進等によりカーボンニュートラル等を牽引する先導的エリアともなる、国公立大学法人等の施設整備費補助金や設備に係る支援の拡充
- 五、個人寄附金に係る税額控除の対象を教育・研究活動（附属病院における教育・研究活動を含む）全般への支援に拡大
- 六、多様な財源の確保と柔軟な資産運用を促進する規制緩和等の環境整備
- 七、地域連携機能強化や地域の課題解決につながるオープンイノベーションの促進、自治体・産業界と連携したスタートアップ創出のための国公立大学への財政支援の充実、また、産学連携によるリカレント教育に対する補助金及び税制上のインセンティブ付与
- 八、大学ファンドについて本年度内を目途に十兆円規模へ拡充

右決議する。

令和三年十二月八日

国公立大学振興議員連盟